



# ひまわり



桶川市青少年健全育成市民会議

第 44 号

令和 3 年 1 月 1 日 (年 1 回発行)

発行 桶川市青少年健全育成市民会議

編集 桶川市青少年健全育成市民会議

広報発行委員会

事務局 桶川市教育委員会生涯学習文化財課

☎ 7 8 8 - 4 9 7 0

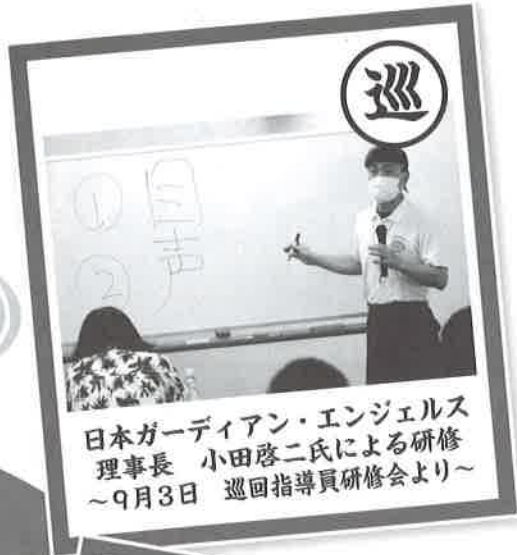
✉ shogai @ city.okegawa.lg.jp



青

青少年育成功労賞を  
受賞のみなさま  
～11月15日 市民大会より～

本年もどうぞよろしく  
お願いします



巡

日本ガーディアン・エンジェルス  
理事長 小田啓二氏による研修  
～9月3日 巡回指導員研修会より～



私

「私たちの主張」作文コンクール  
入賞のみなさま  
～11月15日 市民大会より～



家

「家庭の日」ポスターコンクール  
入賞のみなさま  
～11月15日 市民大会より～



オ



ウ

桶川市青少年相談員協議会主催事業  
「ウォーターサバイバルゲーム」の様子  
～9月13日 伊奈町制施行記念公園にて～

された皆さんの作品です。おめでとうございます。

(敬称略)

## 優秀賞

### ※ポスターコンクール 優秀賞 作品※



朝日小学校1年 勝山 心結  
「かぞくでカラオケ、たのしいな！」



桶川小学校1年 松尾 紅里  
「かぞくで ひまわりばたけ」



桶川小学校2年 高澤 一晴  
「かぞくが ふえたよ」



桶川東小学校4年 田中 日向子  
「え顔のかくにん リモートで」



桶川東小学校4年 鮎島 あかり  
「にここごはんタイム」



加納小学校5年 岩崎 理帆  
「おうちでおもちをついたよ」



桶川中学校1年 細田 もも梅  
「背中からの応援」



桶川中学校2年 宗行 環奈  
「Stay Home」



桶川西中学校2年 矢澤 史哉  
「どのマスクにする？」

# 令和2年度「家庭の日」ポスターコンクールで受賞

入賞作品は、1月4日から16日まで、市役所1階市民ギャラリーに展示します。

## 優良賞

### ※ポスターコンクール優良賞作品※



川田谷小学校 2年 三瓶 はな  
「おうちでごはん おいしいね」



桶川東小学校 2年 高瀬 茉莉  
「家ぞくで たのしむ 夏」



朝日小学校 3年 樋口 真菜  
「家族でたきび」



桶川東小学校 4年 松井 洸人  
「来年4人で花火を見たい」



川田谷小学校 5年 齋藤 志穂  
「家族で楽しくキャンプ」



桶川東小学校 6年 沢沢 綺夏  
「UNO ~うちのおうち時間~」



桶川中学校 2年 西山 純恋  
「Stay Home」



桶川中学校 2年 柳 晴菜  
「家族と過ごしてきた 今までの思い出」



桶川中学校 3年 太田 百香  
「ありがとう！」

令和2年度 桶川市青少年健全育成市民会議表彰

市民大会で行われた表彰式では、青少年の育成に顕著な功績のあった13名が「青少年育成功労賞」を受賞されました。

また、市内小・中学校の児童生徒が取り組んだ「私たちの主張」作文コンクールでは305点の応募があり、優秀賞7点、優良賞5点の入賞者を行いました。「家庭の日」ポスターコンクールでは339点の応募があり、優秀賞9点、優良賞9点の入賞者の表彰を行いました。

表彰された皆様や作品を紹介します。(澁谷)



会長 澁谷 光章

青少年育成功労賞 個人の部(敬称略)

- 桶川サッカースポーツ少年団 岩崎 浩一
- 桶川レッドサッカースポーツ少年団 武田 直弥
- 桶川ヤンキーススポーツ少年団 伊藤 佑樹
- 桶川カーデイナーズスポーツ少年団 新木 亨
- 川田谷ベアーズスポーツ少年団 早坂 明浩
- 桶川ソフトテニススポーツ少年団 辻本 浩一

合気道桶川愛氣会

- 桶川市子ども会育成連絡協議会 千吉良 健太郎
- 桶川市青少年相談員協議会 市川 知春
- 桶川市ジュニアリーグズクラブ 神山 幸大
- 桶川市人権擁護委員会 富張 祐人
- 桶川地区更生保護女性会 佐藤 啓一
- 鴻巣地区保護司会桶川支部 田所 貴栄子
- 長島 豊治

講評

作文コンクール講評

応募して下さった作文は、互いに理解し合うこと、家族の大切さなど幅広いテーマで感心しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、世の中が暗く閉塞感が漂う中でも、未来を目指して力強く歩んでいこうとする作品もあり、頼もしさを感じました。みずみずしい感性と学んだ知識をあわせてまとめ上げた作文は大変立派でした。

(田中)

ポスターコンクール講評

今年度は、例年以上に素晴らしい作品の応募がたくさんありました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、「STAY HOME」や「おうち時間」を題材にした作品が多く見られ、家族の大切さや家庭のぬくもりを、一つ一つの作品から感じました。また、先の見えない不安な状況の中でも、ゆるぎない家族の絆という明るい光が見えたように思いました。

(竹花)

「私たちの主張」作文コンクール入賞者(敬称略)

優秀賞

- 未来を創っていくのは 私たち 桶川小学校 6年 栗原 璃子
- 今、出来ること 桶川小学校 4年 大柳 美麗
- 私たちの星 川田谷小学校 5年 島村 歩奈
- 将来の夢 桶川東小学校 6年 檜垣 花
- 今を大切に 桶川西中学校 3年 高橋 瑞希
- 未来の青い海 桶川東中学校 3年 中村 紅玲
- つなぐ 加納中学校 2年 石川 翔梧

優良賞

- 埼玉県民としての主張 桶川西小学校 4年 福本菜々海
- 命が優先 桶川西小学校 5年 青柳優莉香
- 募金活動を通して 桶川中学校 3年 植野 桃子
- 夢や目標に向かつて 桶川中学校 1年 角 細蔵
- 私と髪と情報 加納中学校 3年 豊田 真菜



第33回桶川市青少年健全育成市民大会

11月15日(日)、桶川市役所において、第33回桶川市青少年健全育成市民大会が開催されました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、講演会は中止となり、「青少年育成功労賞」、「私たちの主張」作文コンクール、「家庭の日」ポスターコンクールの表彰式は、三部に分けて関係者のみで実施したり、「私たちの主張」作文コンクールの優秀賞作品の朗読を中止したりするなど、規模を縮小して実施しました。(金子)



# 巡回指導員委嘱式及び研修会

令和2年9月3日(木)、桶川市役所において、巡回指導員委嘱式及び研修会が開催されました。研修会では、特定非営利活動法人日本ガーディアン・エンジェルス理事長の小田啓二氏を講師に迎え、見守り方法や声かけ方法について学びました。

## Dare to Care

「あえて気にかける」

見守りパトロールでは、相手とは全てが同じ考えではないことを理解し、あえて気にかけることが大切と小田さんは言います。

## コミュニケーションをとるには

1 あいさつ  
あいさつをきっかけに地域とのつながりを深めることが、安全で安心な街づくりの第一歩となります。

2 声かけ  
「いつも気にかけているよ」というメッセージを発信し、悩みや相談を打ち明けられる居場所づくりを心がけましょう。

3 会話  
「言葉と言葉のキャッチボール」投げかける言葉(問いかけなど)は2割、受ける言葉を8割とし、相手の目を見て「真剣に聞く」「話を中断しない」など、声と耳と心で会話することが大切です。

## パーソナル・スペース

パーソナル・スペースには、密接距離・個体距離・社会的距離・公共距離があり、今回は社会的距離について実践を交えながら学びました。

社会的距離とは、お互いに両腕を横に広げた距離のことで、相手に手は届きづらいが、容易に会話ができる距離(約2メートル)となり、知らない人同士がコミュニケーションをとるにはちよūd良い距離とされています。また、子ども達が危険を感じた時、とっさに逃げることでできる距離でもあり危険回避にもつながります。子ども達にも自分自身の身を守るために「パーソナル・スペース」についてぜひ、知っておいてほしいとのことでした。

今回学んだことは、見守りパトロールをするために必要な心得のことではありましたが、子ども達の周りにいる大人が理解を深め、子ども達を尊重し、子ども達の目線に合わせたコミュニケーションをとることが、子ども達のため、そして安全で安心な街づくりにつながると思いました。(西)

## 青少年育成 埼玉県民会議 会長より表彰

12月1日(火)、知事公館において、青少年育成埼玉県民会議の表彰式が行われ、桶川市青少年健全育成市民会議の構成団体である、桶川市子ども会育成連絡協議会の岸典子氏と、桶川市青少年相談員協議会会長の牧田賢彦氏が「青少年育成成功労賞(個人)」を受賞しました。



牧田氏



(左から)岸氏、大野埼玉県知事

## 埼玉県「家庭の日」ポスターコンクールで 3作品が入選!

### 最優秀賞

埼玉県・埼玉県教育委員会・青少年育成埼玉県民会議が主催する令和2年度「家庭の日」ポスターコンクールが行われ、桶川西中学校2年の矢澤史哉さんの作品「夏休みのモグモグタイム」が、優良賞を受賞しました。



桶川西中学校2年 矢澤 史哉  
「気球の前で ハイポーズ!」

### 優良賞



桶川中学校2年 宗行 環奈  
「墓参り」

### 入選



桶川西小学校6年 岸 琴音  
「夏休みのモグモグタイム」



(左から)前島県民会議副会長、宗行さん、矢澤さん、大野埼玉県知事

## 当市民会議の活動について

新型コロナウイルス感染症対策として、桶川市青少年健全育成市民会議総会は、書面議決となりました。様々な事業が中止になる中、「ネットには危険もいっぱい」と書いてあるリーフレットを、市内の小学校4年生以上の児童と中学生に配布したり、非行防止の横断幕を市役所に掲出したりしました。

〔中止となった事業〕

- ・おけがわ春のふれあいフェスタ
  - ・非行防止街頭キャンペーン
  - ・市民まつり非行防止キャンペーン
  - ・親子ふれあいウォーク
- (川田谷地区・加納地区)



## 桶川市長より表彰

11月8日(日)、桶川東公民館において、「市制施行50周年記念令和2年度桶川市表彰式典」が行われ、桶川市青少年健全育成市民会議の小高副会長及び西永委員が、当市民会議の運営委員として長年の功績が称えられ、桶川市長より感謝状を授与されました。



▲(左から)西永氏、小高氏

## ひまわりのつばき

★先輩から「何の為に生まれてきたのか。それは幸せになる為だ。」と言われた。友人に同じ質問をしたところ「他人を幸せにする為だ」と、配偶者を見つめながら答えてくれた。(澁谷)

★世界中で新型コロナウイルス感染症が蔓延し、外出や会食など制限のある生活を送って1年近く。人とのコミュニケーションも中々取りづらく、寂しい生活様式になったと思う今日この頃です。収束して早く何の制限もなく皆に会いたいです。(小高)

★離れて暮らす息子や娘が「今日どんなことをしているか」「何を食べているのか」分かっちゃう。SNSって便利だなあ。(西永)

★子どもの好きなアニメと一緒に観て「ちよっと涙が出そうだった」と息子が一言。子どもの心の成長を感じた。隣で母は号泣だったが、年々涙腺が弱くなる。(笑)(西)

## 編集後記

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、私達の生活環境に大きな変化がありました。当市民会議の行事も、ほぼ中止となってしまいました。とても残念に感じています。学校等の休校、学校行事の縮小など、子ども達にとって、大きな影響を及ぼしたのではないのでしょうか。今、ストレスや不安を抱えている子ども達は増えているようです。

★当たり前のことができなくなった今日この頃。何もない平凡な日常が、いかに幸せなことか……。そんな中での新たな人との出会い、経験ができることに感謝。(金子)

★登園拒否で号泣していた次男の元へ、1歳半の次女がトコトコと駆け寄り、小さな手で次男の背中を優しくトントンし始めた。大きくなっても、人に寄り添える人。であってほしいと願っています。(柳田)

★反抗期は千差万別。大変ではあるが、大人になる為のステップと思え、覚悟していた私。高校卒業後、めでたく社会人となった子ども達。あれ、反抗期がなかったぞ……。大人になる為のステップがなくて、ラッキーか落とし穴か。まだ気は抜けない。(対馬)

★最近子ども達から難しい言葉をよく聞く。今とても流行っているアニメで知ったらしい。自分の子どもの頃も漫画やアニメで知った言葉が、たくさんあったなあと妙に納得。(黒田)

子ども達の身の安全だけでなく、心のケアなど、子ども達の健やかな成長の為に、家庭・学校・地域が連携し、子ども達を温かく見守っていきたいと思っております。引き続き皆様からのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

今回初めて『ひまわり』の編集に参加させていただきました。様々な点でも勉強になりました。皆様とのご縁に感謝です。最後までお読みくださり、ありがとうございました。(柳田)

## 今年度の澁谷会長



(ちーかま)